

# mFOLFOX6療法を受けられる方へ

●mFOLFOX6療法とは、5-FU<sup>®</sup>とアイソボリン<sup>®</sup>、エルプラット<sup>®</sup>の3剤を組み合わせた大腸がんに対する治療法です。

## 投与スケジュール

1日目	2日目以降
エルプラット <sup>®</sup> 点滴	休薬期間
アイソボリン <sup>®</sup> 点滴	
5-FU <sup>®</sup> 急速静注	
5-FU <sup>®</sup> 持続静注(携帯型ポンプ*:46時間)	

← 1コース(2週間) →

2週間を1コースとして繰り返します。

\*携帯型ポンプは自動的にお薬を送り出す装置です。温度や活動状況によりわずかに速さが変化することがあるので、5-FUの持続静注の時間は多少前後しますが心配ありません。

- ◇流量制御部を皮膚に密着させて、体表温度と同じになるようにしてください。
- ◇就寝時はポンプを枕元に置くようにしましょう。
- ◇針の刺入部をぶつけたり、チューブを折り曲げたりしないようにしましょう。



## 主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。

※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療中～24時間以内	●過敏反応
数日～数週間	●末梢神経症状(急性) ●吐き気・嘔吐 ●食欲不振 ●口内炎 ●白血球減少 ●血小板減少
数週間～数ヵ月	●末梢神経症状(慢性) ●色素沈着 ●貧血

### ◇過敏反応:発疹、かゆみ、呼吸困難など

点滴中まれに、発疹、かゆみ、呼吸困難などのアレルギー症状が起こる場合があります。

どきどきする、発疹が出てかゆいなど普段と違うことがある場合はすぐにお申し出ください。

### ◇吐き気・嘔吐、食欲不振

なるべく水分を摂るようにし、消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べるようにしましょう。

### ◇末梢神経症状:手足、口のまわり、舌、のどのしびれ

手足などがしびれたり、感覚が鈍くなることがあります。冷たいものに触れることでしびれが起こりやすくなりますので手袋をする、靴下を履くなどして体を温めてください。冷たい食べ物・飲み物は室温に戻してから摂取してください。

しびれや痛みが持続するようであれば早めに主治医に連絡してください。

### ◇白血球減少:発熱、寒気、咳、喉の痛みなど

38℃以上の発熱や寒気、咳、喉の痛みなどの症状が出た場合はすぐに受診してください。

外出時はマスクを着用し、人混みを避けましょう。手洗い、うがいをこまめにしましょう。

### ◇貧血:めまい・息切れ・倦怠感

赤血球が減少すると、めまいや立ちくらみを起こすことがあります。急激な動作は控え、疲れを感じたら、あまり無理をせず、こまめに休むようにしましょう。

### ◇血小板減少:血が出やすい、アザができる

血が止まりにくくなるため、ケガや転倒、打撲には十分注意し、また鼻かみや歯磨きは優しく行うようにしましょう。